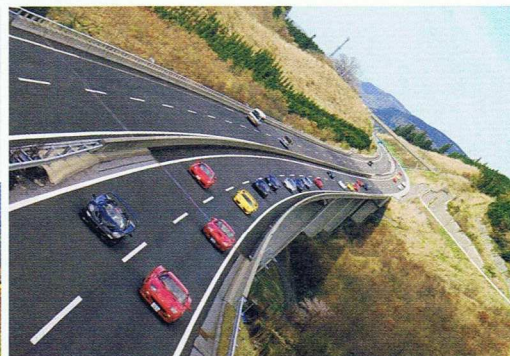


今回の会場となった「炭熊」にはヘリポートも存在。空撮写真は、そこから飛び立った遊覧飛行ヘリから撮影したもの。



CLUB CRUISE 12th Touring

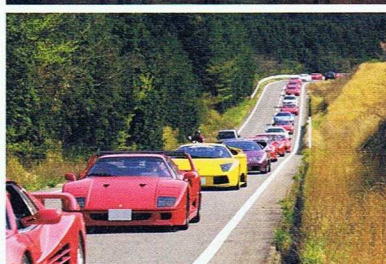
[2008.4.20 in Yufuin]

九州の雄大な自然と美味しい食事を心行くまで満喫できる
クラブクルーズのツーリングが今年も開催された。新会場を
用意して臨んだ今回も、参加者に最上のひとときを提供できたようだ。

高桑秀典●文 text by Hidenori Takakuwa

西野キヨシ●写真 photographs by Kiyoshi Nishino

モータースポットクルーズ●協力 cooperation by motor spot CRUISE HP=<http://www.ms-cruise.com/> ☎0940-37-0020



会場となった奥湯布院の地蔵庵「炭熊」(<http://www.tankuma.net/>)は、新棟の竣工時期を予定よりも早くクラブクルーズの面々を迎え入れた。その企業努力の甲斐あって、総勢192名のエントラント&スタッフが美味しい食事を一堂に会しながら楽しめた。車両は94台が参加。パレードランでは、カラフルなスーパーカーが疾走する迫力あるシーンを撮影できた。早くも来年が楽しみだ。

春の恒例行事となっているクラブクルーズのツーリングが、今年も新緑眩しいシーズンに開催された。早いもので第12回目となる今回は会場を奥湯布院の地蔵庵「炭熊」に移し、心機一転といった感じで行なわれた。第9回目のツーリング以降、クラブクルーズの催しは「春の九州スーパーカーブランチ」としての側面も持つようになったが、地鶏の産地ならではの細やかな味と香りを楽しめた今回のツーリングは、スタッフの狙いといつもの以上にシンクロしたといえるだろう。なお、会場となった炭熊は建設予定だった新棟を当初のスケジュールよりも早く完成させ、クラブクルーズの面々が一堂に会して食事できるように配慮してくれたそうだ。そのような援護射撃もあり、今回のツーリングは非常に満足度が高いもの

になったことをお伝えしておく。さて、当日のスケジュールを報告しておく。エントラントたちは午前中に会場となった炭熊に集結した。会場までの道程で、エントラントたちが思い思いのペースで愛車のパフォーマンスを楽しんだことは説明するまでもないだろう。受付終了後に会場内で美味しい地鶏料理を堪能した一行は、久しぶりに再会した仲間たちと愛車自慢という言葉で置き換えることができるかもしれないスーパーカー談議を楽しんだ。会食がひと段落した後、地元テレビ番組組において華麗なスーパーカーコンテスト(?)を披露している岡本先生による恒例のビンゴゲーム&ジャンケン景品取り大会が行なわれ、大いに盛り上がった。なお、ビンゴゲームではハンデイン

AVIや各種ウェア類&ミニチュアカーなどが賞品となり、特賞としてHD D付き液晶TVなども進呈された。その後、記念撮影を行なったエントラントたちは、各自愛車のもとへ移動し、パレードランのコースとして設定された高速道へと出発して行った。今回のツーリングにもフェラーリを主体とする94台のスーパーカーが顔を揃えたが、カラフルなマシンが連なって走っている光景は、まさに圧巻のひと言だった。クラブクルーズのツーリングは、毎回、スタッフが参加者の期待に応えられるようにと最大限努力するわけだが、今回は、これまでも増して素晴らしい催しになったといえるだろう。次回も、スーパーカーブランチとしての役割を過不足なく果たしてくれるに違いない。